

911.3

ホ

小善堂石印

楷

發句八百題

全冊

東京

友人堂石印



溫古而知
新

古今史

發句八百題目録

春之部

正月	初空	三の朝	いね積	井開	松の内	大箸	ふし肴	破弓馬	馬乗初
初元日	寺初日	寺年禮	いねわくろ	御降	寺福藁	雑煮	福壽草	手鞠	謡初
立春	今朝の春	御慶	初曆	吉方	飾海老	屠蕨	懸想文	羽子突	掃初
初雛	花の春	初霞	門若夷	門松	掛鯛	喰積	力歳	遣羽子	今吉書初
初鴉	宿の春	初夢	若水	松飾	削掛	寺蓬萊	猿曳	著衣初	福曳

天の橋
り
天梅写



春

目

水祝ひ	三月日	睦月	初子の旨	小招引
小正月	養炎	左義長	とんざ	傀儡師
餘寒	春寒	冴々	氷流	残雪
春の雪	二 淡雪	雪解	氷解川	雪間
霞	朝霞	二 夕霞	八重霞	鐘霞
雨霞	風霞	長閑	暖々	糸道
陽炎	水温	三 永日	佐保娘	山笑
初東風	五 東風	春風	春雨	春の月
七種	五 蕭	すゝろ	佛の座	田芹
畑芹	若菜	鶯菜	六 下萌	草萌
莖立	土筆	露の臺	若草	春草
梅	松の花	木の芽	六 芽柳	柳

青柳	椿	十九 赤椿	落椿	畑打
田打	猫の戀	二 白魚	鶯	鶯
雲雀	駒鳥	三 鳥轉	蛭	海苔
御忌	縣召	踏哥	二月	三 衣更著
二日夕	朧月	朧夜	初雷	出代
鳳巾	三 初花	初櫻	糸櫻	紅梅
接木	五 呼接	接穂	挿木	種井
種却	苗代	菜の花	蔵	五 蒲公英
菊苗	菊根分	芦の角	焼野	山焼
燕	雉子	春鴈	行雁	鳥の巢
雀子	引鴨	引鶴	引鳥	初蛙
蛙	六 蝶	田螺	鹿落角	孕鹿

春の海	蚕	雲 <small>又</small> 鳥	董	躑躅	梨花	花盛	八重櫻	竹秋	雛	涅槃會	鮓鱒
春の山	蛤	麥鷄	山葵	藤	海棠	花見	遅櫻	桃	紙雛	雪の果	蒸餅
春野	順峯入	呼子鳥	草麥	山吹	木瓜の花	花	花	櫻	汐干	西行忌	苧初午
春日	風光 <small>ル</small>	小鮎	茶摘	薊	辛夷	花の雨	花の雲	山櫻	春の霜	三月	彼岸
春の夕	春の水	若鮎	五加木	茅花	連翹	木蓮花	花曇	散櫻	別霜	彌生	社日

夏木立	松落葉	夏櫻	菫花	菫	灌佛	夏夜	裕	四月	春の夜	春の暮	夏之部	夏隣	夏隣	行春
木下閣	若楓	宇葉柳	申酉花	葵	佛生會	手加茂祭	綿技	稗如月	夏之暮	夏之部	夏隣	夏隣	夏隣	行春
青嵐	新樹	柳花	残花	新茶	花御堂	諸蔓	青簾	初夏	夏之暮	夏之部	夏隣	夏隣	夏隣	行春
卯花	若葉	栗花	桐花	茨花	宇夏書	筑戸祭	短夜	更衣	夏之暮	夏之部	夏隣	夏隣	夏隣	行春
花卯水	茂 <small>落葉</small>	葉櫻	覆盆子	芥子花	牡丹	水屋能	明安夜	初裕	夏之暮	夏之部	夏隣	夏隣	夏隣	行春

鷹馬尻	杜鵑	浮巢	了了	紙帳	初螢	莎鷄	鷄舟	鎌	菖蒲膏	笹粽	帷子
箒	布穀鳥	老鶯	蚊	蠅	螢	通鴨	步鷄	五月	菖蒲酒	柏餅	辻花
初葶	葭原雀	鶯音入	蚊柱	蝸牛	螢狩	鷄	鮎	懺	藥降	競馬	單物
初鯉	行々子	蝙蝠	蚊遣火	枝蛙	夏蚕	鷄筍	一夜鮎	七菖蒲	藥玉	競駢	夏羽織
松魚	鳩巢	蚤	懶	飛蟻	毛虫	鷄川	鮎	花菖蒲	粽	印地打	扇

團扇	入梅	青田	百日紅	掖の花	藻花	忘草	酸漿花	鶴	火車	夏川	富士詣
日傘	虎洞雨	田草取	蘆橘	樗花	藻刈	凌霄	水鷄	蟬	現狩	六月	祇園會
五月雨	早苗	若竹	柚花	河骨	夏菊	輕菟子	蟬囊	夏山	芒	水無月	月鉾
五月晴	田植	今年竹	青梅	青芒	百合	羽拔馬	鹿の子	夏野	夏室	夏日	暑
	田植唄	竹酔日	栗實	萍	紫陽花	紅花	蒼鷺	照射	夏海	夏水	

夏

目四

土用	芒土用干	汗	嘉祥食	風薫
夏月	凉	三月凉	風凉	露凉
朝凉	夕凉	門凉	至凉臺	納凉
雲峰	夕立	夏雨	至打水	清水
苔清水	岩清水	至礪清水	夏座鋪	晝寢
草	竹婦人	菴枕	蓮	晝花
晝顔	夕顔	撫子	野撫子	釣葱
麻刈	至瓜	真菜瓜	冷瓜	茄子
豇豆	馬齒寬	海羅干	水飯	冷汁
心太	一夜酒	沖鱈	水馬	灯取虫
雫	川社	御被	至御被川	茅輪
秋近	秋隣	夏果		

幾勺八百取去之部

小菘菴確嶺遺稿
確嶺屈風齋校合

正月

正月也何事をもくらく... 由誓

正月也... 杜鶯

正月也... 可母女

正月也... 苞竹

正月也... 千春

正月也... 有節

正月也... 梅雪

正月也... 可母女

元日

立春

雪窓のふきのふは雪のふらふら雪
 高嶺のふきのふは雪のふらふら雪
 鳥峯のふきのふは雪のふらふら雪
 河梁のふきのふは雪のふらふら雪
 可母女のふきのふは雪のふらふら雪
 呉山のふきのふは雪のふらふら雪
 風斎のふきのふは雪のふらふら雪
 邊流のふきのふは雪のふらふら雪
 岱年のふきのふは雪のふらふら雪
 萬嶺のふきのふは雪のふらふら雪
 梅室のふきのふは雪のふらふら雪
 月底のふきのふは雪のふらふら雪

雪窓

高嶺

鳥峯

河梁

可母女

呉山

風斎

邊流

岱年

萬嶺

梅室

月底

初鵪

初鴉

初鵪を啼てとくとつふ鵪
 初鵪や飛雁のまゝまゝ旅の内
 初鵪くくしよろこぶてははしめし
 初鵪くくしよろこぶてははしめし

初空

初日

初空は初日の初
 初日は初空の初
 初日は初空の初
 初日は初空の初
 初日は初空の初
 初日は初空の初
 初日は初空の初
 初日は初空の初
 初日は初空の初
 初日は初空の初
 初日は初空の初

萬古

棚月

松竹

立字

萬嶺

律調

梅漏

雪窓

露秋

風齋

碓嶺

弱左

今朝の春

二

立春

雪窓
 萬嶺
 鳥峯
 河梁
 可母女
 吳山
 風齋
 溼流
 岱年
 萬嶺
 梅室
 月底

元日
 二月
 三月
 四月
 五月
 六月
 七月
 八月
 九月
 十月
 十一月
 十二月

初鵝

初鴉

初空

初日

今朝の春

萬古
 柳月
 松竹
 立宇
 萬嶺
 律調
 梅漏
 雪窓
 靈秋
 風齋
 碓嶺
 弱左

初鵝
 初鴉
 初空
 初日

今朝の春

初霞

ねのある町のうらるるや たらすそと六
不即ちん志すハるあや 初るるそと

素屋 左右

初夢

思ふ人のこゝろ柳よりしやをらん霞
才の夏千是はなをまきしおろ雲
初夢夢中 初夢のこゝろ山
才の夢をばはれし 合々 初夢 霞

逆淵 萬嶺 旬光 五美 河梁

露嶺

初夢のこゝろ山をのりて 霞の舟
才の夢をばはれし 合々 初夢 霞
ついで夢をばはれし 合々 初夢 霞
ついで夢をばはれし 合々 初夢 霞
ついで夢をばはれし 合々 初夢 霞
ついで夢をばはれし 合々 初夢 霞

確嶺 静退 木芝 虚白 九起

初誓

惟ふるも初誓のこゝろ 山をのりて
懐かしの日も是を 吾もたつとて下井
初誓のこゝろ 山をのりて 初誓のこゝろ

由誓 大乃

若夷

人さねるも 初誓のこゝろ 山をのりて
肉井戸の若夷のこゝろ 山をのりて

露嶺 風齊 萬嶺 喜友

若水

若水のこゝろ 山をのりて 初誓のこゝろ
若水のこゝろ 山をのりて 初誓のこゝろ

梅室 如々

井開

井開のこゝろ 山をのりて 初誓のこゝろ
井開のこゝろ 山をのりて 初誓のこゝろ

左右 風齋

御降

御降のこゝろ 山をのりて 初誓のこゝろ
御降のこゝろ 山をのりて 初誓のこゝろ

素屋

削批

批削の形よこまのわたりが賀
卓大
雪窓
風齊

太箸

太箸の形よこまのわたりが賀
卓大
雪窓
風齊

雜莢

雜莢の形よこまのわたりが賀
卓大
雪窓
風齊

眉蘇

眉蘇の形よこまのわたりが賀
卓大
雪窓
風齊

喰積

喰積の形よこまのわたりが賀
卓大
雪窓
風齊

蓬菜

蓬菜の形よこまのわたりが賀
卓大
雪窓
風齊

螺音

螺音の形よこまのわたりが賀
卓大
雪窓
風齊

南強

川子突

川子つゝ川初心より丸を〜

精海

遣子

遣子つゝ川初心より丸を〜

可世女

著衣劫

著衣劫つゝ川初心より丸を〜

萬嶺

馮來劫

馮來劫つゝ川初心より丸を〜

萬嶺

謡功

謡功つゝ川初心より丸を〜

萬嶺

研初

研初つゝ川初心より丸を〜

素山

吉上秋

吉上秋つゝ川初心より丸を〜

由誓

福引

福引つゝ川初心より丸を〜

素外

水祝

水祝つゝ川初心より丸を〜

樂齋

水祝つゝ川初心より丸を〜

遷遊

三ノ日

候ふも 候ふも 候ふも 候ふも
まほひ 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも

錦石
萬嶺
月庭

賤月

まほひの 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも

萬嶺
久輪
一貝
連山
雪窓
露山
多代女
硯水

初子日

小拾遺

候ふも 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも
まほひの 候ふも 候ふも 候ふも

高嶺
風齋
蟻兄
祭魚
頂雨
風齋
露井
西時
風齋
多代女
錦秋

小正月

養父

左養

とんと

男つれ移く義入りしり 嶺
 我うまゝ本のまゝりし義入り 戲蝶
 んりしけぬりの竹の義入り 青塙
 左養をゆしりし里んてりまのま 雪窓
 左養をゆしりし山の色 戲蝶
 昔のまにゆんてりし雪の峰 萬嶺
 川海平んてりし竹のま 嶺嶺
 林下りてりし竹のま 乙居
 六つりまゝりし竹のま 廬
 家をゆりし竹のま 掬月
 男のりし竹のま 志竹

小計

傀儡師

餘寒

春寒

禁子けり家例のまゝとんとと 文翠
 祝ふまゝ見まゝのまゝ 嶺嶺
 りし竹のまゝ 雪窓
 竹のまゝ 岳鳳
 竹のまゝ 墨遊
 竹のまゝ 律調
 竹のまゝ 萬嶺
 竹のまゝ 三恵女
 竹のまゝ 晚翠
 竹のまゝ 確嶺
 竹のまゝ 高嶺

竹返

すさくはらへあしめくちりあききや
まきさけへおとしぬきしう
とりしめぬけきえつるまのりか
ゆきしきききくひかたきかきか
まきさきききききききききき
きききききききききききき
ゆきしききききききききき
ゆきしききききききききき

梢月
可母女
呂鳳

栴月

晚翠

蕙嶺

烏山

葦嶺

風齋

六崖

松

風齋

氷流

氷の流るるまきさききききき
まきさききききききききき
まきさききききききききき
まきさききききききききき
まきさききききききききき
まきさききききききききき
まきさききききききききき
まきさききききききききき

残雪

春雪

氷雪

雪解

春の雪のふりしきききききき
春の雪のふりしきききききき
春の雪のふりしきききききき
春の雪のふりしきききききき
春の雪のふりしきききききき
春の雪のふりしきききききき
春の雪のふりしきききききき
春の雪のふりしきききききき
春の雪のふりしきききききき
春の雪のふりしきききききき

茂椎
風白

新水

為山

思雄

曲江

一具

大朗丸

一止

八鶴

緑舟

風舟

雪解川

切なきわたりていづれもさきけり川共列

十長

ふらふらと思はれし雪のふり川

孤星

くさくさ雪のふり川

梅雪

うしろの雪を眺めては雪をうた

高嶺

霧のふり川

春光

雪のふり川

兵山

大雪を眺めては雪をうた

露交

川を眺めては雪をうた

雪窓

山を眺めては雪をうた

些共

空を眺めては雪をうた

空外

梅を眺めては雪をうた

梅通

風を眺めては雪をうた

風齊

雪間

霞

雪解川

朝霞

夕霞

八重霞

鐘霞

雨霞

風霞

まのの葉を眺めては雪をうた

萬嶺

山を眺めては雪をうた

南嶺

空を眺めては雪をうた

岳際

湖を眺めては雪をうた

湖浦

多代女

多代女

些共

些共

欽哉

欽哉

百度

百度

思雄

思雄

小唄

小唄

音塙

音塙

長閑

静かなるを長閑と云ふ

風齊

静かなるを長閑と云ふ

嶺水

静かなるを長閑と云ふ

雅遊

静かなるを長閑と云ふ

柏清

静かなるを長閑と云ふ

風齊

静かなるを長閑と云ふ

松竹

静かなるを長閑と云ふ

嶺齊

静かなるを長閑と云ふ

廬雪

静かなるを長閑と云ふ

南嶺

静かなるを長閑と云ふ

風齊

静かなるを長閑と云ふ

嶺嶂

静かなるを長閑と云ふ

折壺

静かなるを長閑と云ふ

嶺嶂

陽冬

糸道

暖

静かなるを長閑と云ふ

喜節

静かなるを長閑と云ふ

圭丘

静かなるを長閑と云ふ

梅胡

静かなるを長閑と云ふ

孤星

静かなるを長閑と云ふ

猗竹

静かなるを長閑と云ふ

逸淵

静かなるを長閑と云ふ

二都雄

静かなるを長閑と云ふ

律調

静かなるを長閑と云ふ

萬嶽

静かなるを長閑と云ふ

風齊

永日

水溫

静かなるを長閑と云ふ

森雪

佐保雄

山笑

氷さりのあつれあひ	あやうもほろおひ	えとよのつゆは	あきかほいふ	あけまうそ	あひま	あはれ	あはれ
此山	半水	霧峰	萬嶺	呉雪	風齊	岳風	千春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春

初東風

東風

春風

あつれあひ	あやうも	えとよの	あきかほ	あけまう	あはれ	あはれ	あはれ
此山	半水	霧峰	萬嶺	呉雪	風齊	岳風	千春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春
山	水	峰	嶺	雪	齊	風	春

正月

梅の枝はくぐりて春の影もたれ
 柳の芽ははらばらに青き花の影もたれ
 櫻の枝ははらばらに紅き花の影もたれ
 桃の枝ははらばらに白き花の影もたれ
 李の枝ははらばらに紫き花の影もたれ
 梅の枝ははらばらに白き花の影もたれ
 李の枝ははらばらに紫き花の影もたれ
 桃の枝ははらばらに白き花の影もたれ
 櫻の枝ははらばらに紅き花の影もたれ
 柳の芽ははらばらに青き花の影もたれ

律調
 拾年
 川忠
 風齊
 由誓
 乙居
 野月
 緑雨
 萬嶺
 水竹
 潮浦

春雨

十種

薺

春の影もたれ
 春の影もたれ
 春の影もたれ
 春の影もたれ
 春の影もたれ
 春の影もたれ
 春の影もたれ
 春の影もたれ
 春の影もたれ
 春の影もたれ

應秋
 萬嶺
 大乃
 富鷹
 志竹
 雪窓
 晚翠
 一具
 尚曰
 確嶺
 有節
 開聲

すしろ

古里のきりぎりすのむらさき

風齊

すしろのきりぎりすのむらさき

嶺水

すしろのきりぎりすのむらさき

雪窓

すしろのきりぎりすのむらさき

風齊

すしろのきりぎりすのむらさき

御風

すしろのきりぎりすのむらさき

又輪

すしろのきりぎりすのむらさき

苞竹

すしろのきりぎりすのむらさき

得無

すしろのきりぎりすのむらさき

小魚

すしろのきりぎりすのむらさき

乙樹

すしろのきりぎりすのむらさき

若竹

すしろのきりぎりすのむらさき

有節

併座

田芥

島芥

若菜

すしろ

古里のきりぎりすのむらさき

風齊

すしろのきりぎりすのむらさき

嶺水

すしろのきりぎりすのむらさき

雪窓

すしろのきりぎりすのむらさき

風齊

すしろのきりぎりすのむらさき

御風

すしろのきりぎりすのむらさき

又輪

すしろのきりぎりすのむらさき

苞竹

すしろのきりぎりすのむらさき

得無

すしろのきりぎりすのむらさき

小魚

すしろのきりぎりすのむらさき

乙樹

すしろのきりぎりすのむらさき

若竹

すしろのきりぎりすのむらさき

有節

鶯菜

下萌

草萌

莖

すしろのきりぎりすのむらさき

二重

すしろのきりぎりすのむらさき

雨葉

すしろのきりぎりすのむらさき

風齊

すしろのきりぎりすのむらさき

然年

すしろのきりぎりすのむらさき

風齊

すしろのきりぎりすのむらさき

多代女

すしろのきりぎりすのむらさき

由替

すしろのきりぎりすのむらさき

一具

すしろのきりぎりすのむらさき

十長

すしろのきりぎりすのむらさき

旭輝

すしろのきりぎりすのむらさき

庵秋

土華

るいのまへをてつとくきつとくは

蠟山

侍童へ通し道ありつとく

露九

お古ぬんくはほまをつくく

萬嶺

ゆきうめゆきうめゆきうめ

風齊

落葉

ありぬきこころぬこころぬ

梅室

藤のまを梅造人よりゆれ

萬嶺

思をほろろと嘆きしゆき

秀朝

鏡わりの葉のちゆきし

而之石

をまきくまのゆきし

風齊

若草

まきまきくまのゆきし

謝堂

まきまきくまのゆきし

露秋

まきまきくまのゆきし

素洲

春草

まきまきくまのゆきし

守山

まきまきくまのゆきし

祝水

まきまきくまのゆきし

露九

まきまきくまのゆきし

頂好

梅

まきまきくまのゆきし

文中

まきまきくまのゆきし

祝鶴

まきまきくまのゆきし

春緑

まきまきくまのゆきし

護樂

まきまきくまのゆきし

春緑

まきまきくまのゆきし

春緑

まきまきくまのゆきし

春緑

音 松花

梅の花は乃乃結くをてえよめり梅の
 春もくらの梅の影は梅の影は梅の
 梅の影は梅の影は梅の影は梅の影は
 梅の影は梅の影は梅の影は梅の影は
 梅の影は梅の影は梅の影は梅の影は
 梅の影は梅の影は梅の影は梅の影は
 梅の影は梅の影は梅の影は梅の影は
 梅の影は梅の影は梅の影は梅の影は
 梅の影は梅の影は梅の影は梅の影は

梅成 南強 梅朗 春光 雪窓 竜昇 風齊 確嶺 丹嶺 河梁 萬嶺 樂齊

木 芽

芽 折

折

梅の花は乃乃結くをてえよめり梅の
 梅の花は乃乃結くをてえよめり梅の
 梅の花は乃乃結くをてえよめり梅の
 梅の花は乃乃結くをてえよめり梅の
 梅の花は乃乃結くをてえよめり梅の
 梅の花は乃乃結くをてえよめり梅の
 梅の花は乃乃結くをてえよめり梅の
 梅の花は乃乃結くをてえよめり梅の
 梅の花は乃乃結くをてえよめり梅の

處秋 右翠 虛白 律調 風正 濼々 千春 雪窓 風齊 梅室 一胡 是三

雪
寒
些
共
春
光
梅
胡
春
蝶
律
調
大
乃
梅
雪
風
齊
確
嶺
種
好
春
蝶

音
折

椿

赤
椿

露
秋
南
嶺
萬
大
江
玄
深
大
乃
小
臭
雨
蕉
風
齊
素
乳
雷
鷺
金
柱

落椿

高松のまきまきの落椿のまきまき

風齋

乙辰のまきまきまきのまきまき

乙辰

高松のまきまきまきのまきまき

喜貞

知歩

高松のまきまきまきのまきまき

鳳樓

新

田方

高松のまきまきまきのまきまき

田方

碓嶺

白魚

高松のまきまきまきのまきまき

雪窓

高松のまきまきまきのまきまき

八鶴

高松のまきまきまきのまきまき

人輪

高松のまきまきまきのまきまき

雪窓

高松のまきまきまきのまきまき

律調

高松のまきまきまきのまきまき

嶺齊

高松のまきまきまきのまきまき

三惠女

鶯

鷺

雲雀

早々の鳴きこぼるる
ささや 鳥のくさくさハ 武蔵野の
うさぎすの地をさへ 甲午 運慶
さきのこゝに ちかて ちかて ちかて
さきこゝに ちかて ちかて ちかて
さきこゝに ちかて ちかて ちかて
さきこゝに ちかて ちかて ちかて
さきこゝに ちかて ちかて ちかて
さきこゝに ちかて ちかて ちかて
さきこゝに ちかて ちかて ちかて
さきこゝに ちかて ちかて ちかて
さきこゝに ちかて ちかて ちかて

護樂
萬嶺
露岫
一朗
種好
風齊
阜池
月底
春蝶
可大
竜昇
一樂

駒馬

轉

蜺

秋の風をたふし ちかて ちかて
秋の風をたふし ちかて ちかて
秋の風をたふし ちかて ちかて
秋の風をたふし ちかて ちかて
秋の風をたふし ちかて ちかて
秋の風をたふし ちかて ちかて
秋の風をたふし ちかて ちかて
秋の風をたふし ちかて ちかて
秋の風をたふし ちかて ちかて
秋の風をたふし ちかて ちかて
秋の風をたふし ちかて ちかて

素前
晚翠
公午
一具
露秋
陽山
巧左
北馬
露秋
松什
萬嶺
風齊

海苔

軒忌

縣石

浴哥

海苔をうらなうりたるはらりぬい
きり海苔の海苔干り浴の人の群
なるとなきは海苔のうらな海苔火とる
山ののゆりさゆすは海苔の陸
まゆの葉をうらなきり海苔かて
一りおろしうらなうらなうらな
燈やうらなゆりしうらな海苔
花の葉を花のうらな海苔
縁のー身うらな海苔海苔うらな
ゆりゆりうらなー人うらな海苔石
海苔ゆりうらな海苔うらな海苔
ゆりゆりゆりうらな海苔ゆりゆり

波同 起分 乙居 梅室 夕代女 柴人 乙居 今 扶哉 風齊 兔詠 圭五

二月

夜露

二月

二日矣

海苔のうらなうらな海苔の二月
海苔のうらなうらな山をきり二月のうらな
海苔のうらなうらな海苔の二月のうらな
海苔のうらなうらな海苔の二月のうらな
海苔のうらなうらな海苔の二月のうらな
海苔のうらなうらな海苔の二月のうらな
海苔のうらなうらな海苔の二月のうらな
海苔のうらなうらな海苔の二月のうらな
海苔のうらなうらな海苔の二月のうらな
海苔のうらなうらな海苔の二月のうらな

雪窓 里苒 梅固 三光 晚翠 大鴨 挑酢 和郷 梅雪 萬嶺 連山 乙居

朧月

二百年後に記すに
月、主君を思ふに
江のほとり、こゝろを
懐かしく思ふに
懐かしく思ふに
懐かしく思ふに

越前
手
巻
律
湖
浦

朧夜

懐かしく思ふに
懐かしく思ふに
懐かしく思ふに
懐かしく思ふに
懐かしく思ふに
懐かしく思ふに

巻
律
湖
浦
流
艾

初雷

懐かしく思ふに
懐かしく思ふに
懐かしく思ふに
懐かしく思ふに
懐かしく思ふに
懐かしく思ふに

高嶺
高嶺
高嶺
高嶺
高嶺
高嶺

出伏

懐かしく思ふに
懐かしく思ふに
懐かしく思ふに
懐かしく思ふに
懐かしく思ふに
懐かしく思ふに

卓池
九起
風扇
卓池

風巾

出伏の二階を梅
出伏の二階を梅
出伏の二階を梅
出伏の二階を梅
出伏の二階を梅
出伏の二階を梅

蒼
巖
由
誓
梅
暎

初花

出伏の二階を梅
出伏の二階を梅
出伏の二階を梅
出伏の二階を梅
出伏の二階を梅
出伏の二階を梅

緑
雨
三
惠
女
風
益

出伏の二階を梅
出伏の二階を梅
出伏の二階を梅
出伏の二階を梅
出伏の二階を梅
出伏の二階を梅

茶
許
八
鶴
昌
陸
萬
嶺
風
翁

種井

種印

苗代

菜花

飯のあひらきしきも折つく折ど
と安きまふし種井とあく種
一々の懸るる種印種井と

折のるるはをのう種印
種印の二のうをを種印種印

呵のるるはをのう種印種印

苗代やまをを種印種印

苗代やまをを種印種印

苗代やまをを種印種印

苗代やまをを種印種印

苗代やまをを種印種印

苗代やまをを種印種印

小奥
西崎

乙居

三恵女

潮浦

金桂

頂雨

茂翠

志竹

風齋

河梁

鶴居

種

炭

蒲公葵

形の花のさくらし種一 畑の屋歩 一 釜

炭の石のさくらし種一 畑の屋歩 一 釜

炭の石のさくらし種一 畑の屋歩 一 釜

炭の石のさくらし種一 畑の屋歩 一 釜

炭の石のさくらし種一 畑の屋歩 一 釜

炭の石のさくらし種一 畑の屋歩 一 釜

炭の石のさくらし種一 畑の屋歩 一 釜

炭の石のさくらし種一 畑の屋歩 一 釜

炭の石のさくらし種一 畑の屋歩 一 釜

炭の石のさくらし種一 畑の屋歩 一 釜

炭の石のさくらし種一 畑の屋歩 一 釜

炭の石のさくらし種一 畑の屋歩 一 釜

炭の石のさくらし種一 畑の屋歩 一 釜

一 釜

一 釜

一 釜

一 釜

一 釜

一 釜

一 釜

一 釜

一 釜

一 釜

一 釜

菊苗

ふんけのたろくし 阿蘇うき
菊苗と唐あつち 神くさの唐
菊苗とんわの人のまろくし
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な

萬嶺
卓池
祖郷
護岳

根多栗

ふんけのたろくし 阿蘇うき
菊苗と唐あつち 神くさの唐
菊苗とんわの人のまろくし
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な

山誓
砥水
馳岳
如山

芦角

ふんけのたろくし 阿蘇うき
菊苗と唐あつち 神くさの唐
菊苗とんわの人のまろくし
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な

露丸
楓下
拾嶺
折雨

燒野

ふんけのたろくし 阿蘇うき
菊苗と唐あつち 神くさの唐
菊苗とんわの人のまろくし
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な

楓下
拾嶺
折雨

中嶺

ふんけのたろくし 阿蘇うき
菊苗と唐あつち 神くさの唐
菊苗とんわの人のまろくし
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な
菊苗と唐あつちきくき米な

多代女
高嶺
富嶺
嶺嶺
一本
萬嶺
而岳
護水
鐵螺
萬嶺
萬嶺
嵐齊

燕

種子

春鴈

帰鴈

種多きや中野の霧の起り
 鹿野の川に度々種多き鳥
 野雁のやまをゆく風のそよむ
 種多きや中野の霧の起り
 鹿野の川に度々種多き鳥
 野雁のやまをゆく風のそよむ

去梁
 柳等
 文之
 種好
 大乃
 年緒
 拾什
 萬嶺
 青山
 律調
 一胡
 流是

鳥巢

雀子

支鴨

命とせんとあはれり
 秋の葉をゆく鳥の巣
 雀の巣もあはれり
 秋の葉をゆく鳥の巣
 雀の巣もあはれり

八鶴
 楓下
 柳加
 乙居
 蛇岳
 素山
 菰我
 竹風
 菊泉
 潮浦
 祝鶴
 荻哉

引鶴

秋の霜のりり川は流す鶴の引
鶴の引は流す川は流す鶴の引

酒樂
寄三
御風

引鳥

春城の柳は流す鶴の引
鶴の引は流す川は流す鶴の引

律調
風齊
桂女
乙居

初蛙

初蛙の鳴き声は流す鶴の引
鶴の引は流す川は流す鶴の引

風齊
庭翠
伴月
高嶺

初蛙の鳴き声は流す鶴の引
鶴の引は流す川は流す鶴の引

野月

蛙

蛙の鳴き声は流す鶴の引
鶴の引は流す川は流す鶴の引

梅價
律調

蝶

蝶の舞は流す鶴の引
鶴の引は流す川は流す鶴の引

黃山
確嶺
柳壺
些共

胡蝶

胡蝶の舞は流す鶴の引
鶴の引は流す川は流す鶴の引

露秋
晚翠
風齊
江三
南強
雪窓

田螺

螺の這りあはるる道は甲の

悠々

運のつらさの道は甲の

而后

運のつらさの道は甲の

萬嶺

運のつらさの道は甲の

風齊

運のつらさの道は甲の

茶靜

運のつらさの道は甲の

桃所

運のつらさの道は甲の

八鶴

運のつらさの道は甲の

潮常

運のつらさの道は甲の

徳六呂

運のつらさの道は甲の

十長

運のつらさの道は甲の

梢月

落南

孕鹿

期繪

蕪鯨

初午

彼岸

社日

浦のつらさの道は甲の

風齊

浦のつらさの道は甲の

由誓

浦のつらさの道は甲の

確嶺

浦のつらさの道は甲の

首竹

浦のつらさの道は甲の

可母女

浦のつらさの道は甲の

風齊

浦のつらさの道は甲の

桃垣

浦のつらさの道は甲の

思雄

浦のつらさの道は甲の

溪齊

浦のつらさの道は甲の

風齊

浦のつらさの道は甲の

梢月

浦のつらさの道は甲の

樂齊

浦のつらさの道は甲の

潮干

春霜

別霜

竹秋

紙の如く移り候も我のまゝ
 むかし川あふむは千たけ
 き山よむとうそとて一ぼんや
 移りゆく候のわづらひも
 人にそほたり候や一ぼんや
 ま中けけの上園ふー
 酔ひいふ候や一ぼんや
 移りゆく候のわづらひも
 白り候や一ぼんや
 移りゆく候のわづらひも
 移りゆく候のわづらひも

塞馬 旭窓 春光 三忠女 波琴 空外 露伏 河折女 里荐 龜山 桃垣 竹

挑

櫻

身うほきこころはあやみ
 挑ひたるもの繁枝
 挑ひたるもの繁枝
 挑ひたるもの繁枝
 挑ひたるもの繁枝
 挑ひたるもの繁枝
 挑ひたるもの繁枝
 挑ひたるもの繁枝
 挑ひたるもの繁枝
 挑ひたるもの繁枝
 挑ひたるもの繁枝
 挑ひたるもの繁枝

乙屋 岳陰 露株 さ、女 卓池 五石 風齋 由誓 素屋 可母女 竜昇 風齋

山櫻

多行ら梅はさぬ我花を山櫻
兄と連一うらうら山はさるらうら

山はさるらうらうら梅をさるらうら
山はさるらうらうら梅をさるらうら

さるらうらうら梅のうらうら梅をさるらうら
さるらうらうら梅のうらうら梅をさるらうら

家家うらうら梅をさるらうら
家家うらうら梅をさるらうら

梅のうらうら梅をさるらうら
梅のうらうら梅をさるらうら

八重櫻
八重櫻は梅のうらうら梅をさるらうら
八重櫻は梅のうらうら梅をさるらうら

遅櫻

遅櫻は梅のうらうら梅をさるらうら
遅櫻は梅のうらうら梅をさるらうら

些共

音好

風齊

砥嶺

圭丘

玄梁

文之

香窓

孤星

一具

林晉

卓由

荷

芥

芥は梅のうらうら梅をさるらうら
芥は梅のうらうら梅をさるらうら

梅のうらうら梅をさるらうら
梅のうらうら梅をさるらうら

梅のうらうら梅をさるらうら
梅のうらうら梅をさるらうら

梅のうらうら梅をさるらうら
梅のうらうら梅をさるらうら

梅のうらうら梅をさるらうら
梅のうらうら梅をさるらうら

梅のうらうら梅をさるらうら
梅のうらうら梅をさるらうら

梅のうらうら梅をさるらうら
梅のうらうら梅をさるらうら

杜蒙

荷竹

風齊

九華

南陽

潮浦

千鶴

春先

三都雄

梅花

志水

頂雨

花雲

花曇

花盛

ゆきまきの花も散れり 葉の山止
 ありきは咲き 葉の中をの花
 花もあつちの葉の 影をけり
 梅のほろろのさき 花の
 花の葉の中を花のさき 花の
 夕たりのすべり ふくらみ花のさき
 花のさき 花の中を花のさき
 花のさき 花の中を花のさき
 花のさき 花の中を花のさき
 花のさき 花の中を花のさき
 花のさき 花の中を花のさき
 花のさき 花の中を花のさき

梅 嶺 護 岳 文中 風 齊 確 嶺 龍 昇 錦 秋 好 文 白 露 晚 翠 梅 室

花見

散花

花雨

まらけき花のさき 花のさき
 まらけき花のさき 花のさき
 まらけき花のさき 花のさき
 まらけき花のさき 花のさき
 まらけき花のさき 花のさき
 まらけき花のさき 花のさき
 まらけき花のさき 花のさき
 まらけき花のさき 花のさき
 まらけき花のさき 花のさき
 まらけき花のさき 花のさき
 まらけき花のさき 花のさき
 まらけき花のさき 花のさき
 まらけき花のさき 花のさき

梅 通 曲 江 些 共 逸 淵 高 嶺 梅 花 些 共 志 竹 竜 昇 全 千 春 梅 花

木蕨

梨花

海棠

木瓜花

辛夷

性多て 俗子 居たり 木瓜の花

秋のある 望まうて 木瓜の花

樹こりの 枝も 咲らまて 梨花の花

不意に 咲き 咲く 梨花の花

向きて 咲く 咲く 梨花の花

海棠の花 咲く 咲く 海棠の花

海棠の花 咲く 咲く 海棠の花

海棠の花 咲く 咲く 海棠の花

海棠の花 咲く 咲く 海棠の花

海棠の花 咲く 咲く 海棠の花

海棠の花 咲く 咲く 海棠の花

一具

志竹

竹舎

律調

梅花

梅室

廬雪

小奠

緋雨

祖郷

碓嶺

乙居

美示

連翹

脚躑

膝

辛夷の花 咲く 咲く 辛夷の花

辛夷の花 咲く 咲く 辛夷の花

辛夷の花 咲く 咲く 辛夷の花

辛夷の花 咲く 咲く 辛夷の花

辛夷の花 咲く 咲く 辛夷の花

辛夷の花 咲く 咲く 辛夷の花

辛夷の花 咲く 咲く 辛夷の花

辛夷の花 咲く 咲く 辛夷の花

辛夷の花 咲く 咲く 辛夷の花

辛夷の花 咲く 咲く 辛夷の花

辛夷の花 咲く 咲く 辛夷の花

辛夷の花 咲く 咲く 辛夷の花

竜舟

風齋

碓嶺

梅室

多代女

柳壺

寸長

樂齋

小奠

風齋

今是

鴈居

山吹

薊

茅花

あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに

露秋
芭竹
荻我
林曹
梅花
可母女
一具
玄梁
十春
風齋
折加
白露

萱

山葵

草麦

茶桶

あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに
あつちの山吹のついでに

瓜齊
大江
石鼎
大江
瓜齊
瓜山
寸長
一具
文之
野月
一止
喜節

五加木

雲入鳥

呼子鳥

小鮎

若鮎

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

鳳兮

幸女

文之

九万岐

凡芥

一具

古翠

喜節

寸長

大江

多代女

一止

山

蚕

蛤

順壽入

風光

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

寸長

孤星

梅雪

高嶺

春光

兵山

露交

雪窓

些共

空外

大江

文之

春水

春水又西二名... 春水又西二名... 春水又西二名... 春水又西二名... 春水又西二名... 春水又西二名... 春水又西二名... 春水又西二名... 春水又西二名... 春水又西二名...

春油

春油... 春油... 春油... 春油... 春油... 春油... 春油... 春油... 春油... 春油...

春山

春山... 春山... 春山... 春山... 春山... 春山... 春山... 春山... 春山... 春山...

推

風

白

水

割

為

山

思

雄

江

一曲

具

太

明

丸

止

一

入

鳥

綠

奔

奔

風

奔

奔

奔

奔

奔

奔

奔

春夜

春夜... 春夜... 春夜... 春夜... 春夜... 春夜... 春夜... 春夜... 春夜... 春夜...

春日

春日... 春日... 春日... 春日... 春日... 春日... 春日... 春日... 春日... 春日...

春野

春野... 春野... 春野... 春野... 春野... 春野... 春野... 春野... 春野... 春野...

春暮

夏祈

夏祈

春暮

春暮の夕べのうららかな空に
 さあさあやうやうと暮れゆく
 梅の花の匂いも去つて
 ほろほろの空に
 夏祈の夕べのうららかな空に
 さあさあやうやうと暮れゆく
 梅の花の匂いも去つて
 ほろほろの空に

尚日
 茶静
 風祈
 遅流
 錦石
 園林
 祝鶴
 嶺齊
 柳屋
 乙辰
 柳月
 風齊

叢乃八万敷五と新

時命

四月

小菘菴確嶺遺稿
確嶺屈風齋杖合

乙未の四月五日
 乙未の四月十日
 乙未の四月十五日
 乙未の四月二十日
 乙未の四月二十五日
 乙未の四月三十日
 乙未の五月五日
 乙未の五月十日
 乙未の五月十五日
 乙未の五月二十日
 乙未の五月二十五日
 乙未の五月三十日

御風
 大江
 乙辰
 風齋
 確嶺
 嵐牛
 柳竹
 萬石

短夜

及も何ぞはしむる時やまもせしむ
まもせしむれはしむる浦海なるを
あしむる時やまもせしむる山
あしむる時やまもせしむる海
あしむる時やまもせしむる川
あしむる時やまもせしむる川
あしむる時やまもせしむる川
あしむる時やまもせしむる川
あしむる時やまもせしむる川
あしむる時やまもせしむる川

乙居 律調 可母女 椿葉 湖浦 素洲 祝鶴 碓嶺 乙居 一明 丹嶺 香谷

明安夜

夏夜

あしむる時やまもせしむる川
あしむる時やまもせしむる川
あしむる時やまもせしむる川
あしむる時やまもせしむる川
あしむる時やまもせしむる川
あしむる時やまもせしむる川
あしむる時やまもせしむる川
あしむる時やまもせしむる川
あしむる時やまもせしむる川
あしむる時やまもせしむる川

風齋 碓嶺 速洲 三つ女 開那 風齋 海布 花笠 笑月 風齋 嶺齋 風齋

加茂祭

諸葛

筑下奈

多代女の
名をいふは御
御をいふ

蓬陽
多代女
三都雄

水屋能

器月
風齋
人々のいふ
御をいふ

器月
風齋

灌井

護岳
泉左
灌井の
御をいふ

護岳
泉左

伴生會

夜白
嶺齋
伴生會の
御をいふ

夜白
嶺齋
風齋

花柳堂

一具
梅垣
花柳堂の
御をいふ

一具

夏書

祖卿
柳加
夏書の
御をいふ

祖卿
柳加
雀安
惟草
千を

牡丹

志竹
其友
牡丹の
御をいふ

志竹
其友
松雪
些共
寸長

申酉花

残花

桐花

栗櫻

昔のつれを思ふはよしのとある世に
思ふはよしのとある世に 昔のつれ
さあさありのつれが 空田のけしき
さあさありのつれが 空田のけしき
あがりきつれ 山のさあさあ けしき
いつのよのつれ 空田のけしき
あがりきつれ 山のさあさあ けしき
さあさありのつれが 空田のけしき
さあさありのつれが 空田のけしき
あがりきつれ 山のさあさあ けしき
いつのよのつれ 空田のけしき

風齋 碓嶺 句光 梅雪 乙居 圭丘 風齋 映門 半牛 碓嶺 有節 律調

夏櫻

葉柝

柝花

昔のつれを思ふはよしのとある世に
思ふはよしのとある世に 昔のつれ
さあさありのつれが 空田のけしき
さあさありのつれが 空田のけしき
あがりきつれ 山のさあさあ けしき
いつのよのつれ 空田のけしき
あがりきつれ 山のさあさあ けしき
さあさありのつれが 空田のけしき
さあさありのつれが 空田のけしき
あがりきつれ 山のさあさあ けしき
いつのよのつれ 空田のけしき

巷竹 碓嶺 乙居 碓嶺 葉齋 昇仙 萱平 悠平 久女 河梁 錦秋 春光

栗花

常盤木

若楓

若楓

ちりちりい ちりちりい 秋の花
 万像 卓池 八鶴 青鳩 乙居 井雨 確嶺 梅室 岱年 倚竹 樂齊

新樹

若葉

新樹 風樓 江三 宇逸 廣信 風齊 林曹 連山 芙蓉女 種好 萬嶺 風齋 確嶺

茂

茂多きの赤ももあやの岸をまきけ
 梅も志志あててまきけ
 向もまきけしあやの岸を
 赤もももまきはなれまきけの茂は
 一すもまきけまきはなれまきけ
 赤ももまきはなれまきけの茂は
 下りけのまきけまきはなれまきけ
 赤ももまきはなれまきけの茂は
 赤ももまきはなれまきけの茂は
 赤ももまきはなれまきけの茂は

悠々
 梅積
 盧雪
 南強
 風齊
 碓嶺
 九起
 大乃
 江翠
 風也
 河梁

夏木立

木下閣

音嵐

外花

音いぬは仲子けりけりあやゆえ
 かぬけりけり仲子のけりけりあやゆえ
 赤ももまきはなれまきけの茂は
 神神のまきはなれまきけの茂は
 目のまきはなれまきけの茂は
 赤ももまきはなれまきけの茂は
 まきけの茂は
 まきけの茂は
 まきけの茂は
 まきけの茂は
 まきけの茂は

碓嶺
 悠々
 春光
 林雨
 柴人
 月底
 大江
 杏雨
 風嶽
 碓嶺
 太橋
 波文

花弁木

鷹爪

おの花や 日くまもあつて 秋の夜
おの花や まのりまき 秋の夜
おの花や 月夜の 修の秋の夜
おの花や 秋くまの 地 四
おの花や 産を つまふ 備前
花の木の 咲くまのり 由誓
時々の 降るまのり 拾竹
時々の 里の おのり 九々岐
おの花や 産を つまふ 器月
おの花や 産を つまふ 風齊
おの花や 産を つまふ 天乃

湯 竜
圭 丘
李 葉
野 窓
七 年
由 誓
拾 竹
九 々 岐
器 月
風 齊
天 乃

初芽子

初鯉

初美

おの花や 人も 秋くまの 産の 肉ニヤ 青蛾
おの花や 産を つまふ 野月
おの花や 産を つまふ 風齊
おの花や 産を つまふ 碓嶺
おの花や 産を つまふ 古翠
おの花や 産を つまふ 喜節
おの花や 産を つまふ 柳加
おの花や 産を つまふ 碓嶺
おの花や 産を つまふ 草池
おの花や 産を つまふ 千春
おの花や 産を つまふ 乙
おの花や 産を つまふ 撰翁

青 蛾
野 月
風 齊
碓 嶺
古 翠
喜 節
柳 加
碓 嶺
草 池
千 春
乙
撰 翁

段原

常衣のほろりたりとく
むふ木のうけを啼きし
うんこもふかしくわねを
切のあはれ移る町を
切やま枝の入りめり
ふさぎやあはれ海ま
すか合 枝は伏すも
ほろりたりとく
むふ木のうけを啼きし
うんこもふかしくわねを

竜昇 風齋 確嶺 乙居 梅嶺 種好 確嶺 律調 富鷹 喜節 風齋 確嶺

行々子

鳴巢

鳴の巢のそねをけし
ほろりたりとく
ふさぎやあはれ海ま
すか合 枝は伏すも
ほろりたりとく
むふ木のうけを啼きし
うんこもふかしくわねを

津巢

おしえたりとく
むふ木のうけを啼きし
うんこもふかしくわねを
切のあはれ移る町を
切やま枝の入りめり
ふさぎやあはれ海ま
すか合 枝は伏すも
ほろりたりとく
むふ木のうけを啼きし
うんこもふかしくわねを

老鶯

老鶯のうけを啼きし
うんこもふかしくわねを
切のあはれ移る町を
切やま枝の入りめり
ふさぎやあはれ海ま
すか合 枝は伏すも
ほろりたりとく
むふ木のうけを啼きし
うんこもふかしくわねを

鶯

梅價 有節 乙居 風齋 春室 戲珠 由誓 陽山 萩哉 鶯山 卓池

蝙蝠

蚤

子牙

きんぎょのうろこをききし 節 うろこ

句光 淡更

かたきりし人かたきりの川あし人并

一 具 佳風

うけありし千折るの像月御

一 具 匠齋

うけありし千折るの像月御

一 具 五明

かたきりし人かたきりの川あし人并

一 具 鷹居

かたきりし人かたきりの川あし人并

一 具 乙居

かたきりし人かたきりの川あし人并

一 具 風齋

かたきりし人かたきりの川あし人并

一 具 梅空

秋

秋

秋

秋

あきふりし秋の夜半の月をみれば

露泉

あきふりし秋の夜半の月をみれば

花叟

あきふりし秋の夜半の月をみれば

林曹

あきふりし秋の夜半の月をみれば

三都雄

あきふりし秋の夜半の月をみれば

波文

あきふりし秋の夜半の月をみれば

梅頑

あきふりし秋の夜半の月をみれば

確強

あきふりし秋の夜半の月をみれば

松什

紙帳

三都雄
 思雄
 竜耳
 風聲
 確嶺
 首音
 一止
 曾有
 雪窓
 春蝶
 確嶺
 雀叟

三都雄
 思雄
 竜耳
 風聲
 確嶺
 首音
 一止
 曾有
 雪窓
 春蝶
 確嶺
 雀叟

鯉

鍋牛

枝蛙

海布
 来里
 乙居
 卓池
 可母女
 八鶴
 鴨居
 蓬宇
 潤翠
 而辰
 確嶺
 由誓

海布
 来里
 乙居
 卓池
 可母女
 八鶴
 鴨居
 蓬宇
 潤翠
 而辰
 確嶺
 由誓

飛蟻

つゞきわらぬの蟻あらしきく 付老菊人
 木のきわむ 田舎のきくきく 枝 付今可大
 由蟻あらしきく 蟻あらしきく 蟻
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 上毛
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 白
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 嶺
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 碓
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 翠
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 音
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 好

初蟻

蟻

蟻

蟻

夏蟻

毛虫

木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 思
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 竜
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 梅
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 朔
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 風
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 齋
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 梅
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 嶺
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 齋
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 乙
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 居
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 風
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 齋
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 確
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 嶺
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 杜
 木のきわむのきくきく 蟻あらしきく 鷲

鷓鴣

通鴨

鷓鴣

鷓鴣

鷓鴣の鳴き声は、春の訪れを告げる。通鴨は、水辺で優雅に泳ぐ姿が美しい。鷓鴣は、雄の鳴き声が雄々しい。鷓鴣は、羽の色が鮮やかで、美しい鳥である。

遠淵 欽哉 匠齊 小莫 風齋 樂齋 乙居 昂左 院鷓 雲居 杜鷓 岱年

鷓鴣

鷓鴣

鷓鴣

鷓鴣

鷓鴣の鳴き声は、春の訪れを告げる。鷓鴣は、水辺で優雅に泳ぐ姿が美しい。鷓鴣は、雄の鳴き声が雄々しい。鷓鴣は、羽の色が鮮やかで、美しい鳥である。

大乃 水行 梅通 蓬陽 呂鳳 淡更 竜耳 林曹 一具 乙居 風齋 鳥山

一夜幹

鮎

録

五月

まは海十尺二尺一節の味
鮎は海に生る花の根より一
葉のまをとりてまをう

萬古
波同
嶺齊

醉一とてお程と海草と一葉あり
有るうとて月の入りう一葉あり

折壺
風齊

鮎は海に生る花の根より一葉あり
有るうとて月の入りう一葉あり

九未岐

鮎は海に生る花の根より一葉あり
有るうとて月の入りう一葉あり

風齊
確嶺

一葉ありとて月の入りう一葉あり
有るうとて月の入りう一葉あり

八鶴

鮎は海に生る花の根より一葉あり
有るうとて月の入りう一葉あり

乙居

鮎は海に生る花の根より一葉あり
有るうとて月の入りう一葉あり

小栗

鮎は海に生る花の根より一葉あり
有るうとて月の入りう一葉あり

由誓

嶺

菖蒲

花菖蒲

花菖蒲をうけてまを五月に
花菖蒲は五月のうり五月に

律調
萬嶺

花菖蒲は五月のうり五月に
花菖蒲は五月のうり五月に

確嶺
應知

花菖蒲は五月のうり五月に
花菖蒲は五月のうり五月に

苞竹
荻哉

花菖蒲は五月のうり五月に
花菖蒲は五月のうり五月に

嶺齊
杜鰲

花菖蒲は五月のうり五月に
花菖蒲は五月のうり五月に

春蝶
呼牛

花菖蒲は五月のうり五月に
花菖蒲は五月のうり五月に

突林
確嶺

競馬

競馬のついでに山の手競馬をいふ

素屋
由誓

競走

競走のついでに山の手競馬をいふ

梅室
海布

印地寺

印地寺のついでに山の手競馬をいふ

乙辰
久輪

帷子

帷子のついでに山の手競馬をいふ

昇月
豈非

辻花

辻花のついでに山の手競馬をいふ

懸泉
欽哉

ナリ

單物

雪窓
年月

雪窓
年月

萬像
乙辰

萬像
乙辰

文中
久輪

文中
久輪

風齋
黄山

風齋
黄山

夏羽織

夏羽織のついでに山の手競馬をいふ

久女
直居

扇

扇のついでに山の手競馬をいふ

直居
潔白

團扇

日午

すゝも指もまゝあつてもよあつてもよ
身も指もあつてもよあつてもよ
画も指もあつてもよあつてもよ
川も指もあつてもよあつてもよ
歌も指もあつてもよあつてもよ
吹も指もあつてもよあつてもよ
川も指もあつてもよあつてもよ
扇も指もあつてもよあつてもよ
娘も指もあつてもよあつてもよ
日午も指もあつてもよあつてもよ
てうち人もあつてもよあつてもよ
花も指もあつてもよあつてもよ

富富鳥 匠齋 松蛙 律調 雀度 峯水 阜郎 岱年 露泉 太萃 花鳥 久女

あ

五月雨

里まへ

五月晴

さす折流の節もあつてもよ
楓も指もあつてもよ
新雨もあつてもよ
萬も指もあつてもよ
月も指もあつてもよ
五月も指もあつてもよ
山も指もあつてもよ
五月も指もあつてもよ
五月も指もあつてもよ
五月も指もあつてもよ
五月も指もあつてもよ
五月も指もあつてもよ
五月も指もあつてもよ
五月も指もあつてもよ
五月も指もあつてもよ
五月も指もあつてもよ

稚嶺 楓下 頂雨 井古 護樂 甫水 氷住 碓嶺 龜山 抱杵 共山 桃垣

廿

入梅

新雪の降りてくるをうらやましくも五月の晴
けけ雅のあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴

文志 碓嶺 流芝 朔月 梅田 峯月 寿山 荻哉 風齋 鴨居 東水 圭丘

序泪雨

早苗

雨の降りてくるをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴

六

田植

あつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴
けけあつたをうらやましくも五月の晴

碓嶺 心阿 白露 析壺 鳳石 碓嶺 由誓 高松 魚二 苞竹 一具 宇途

田植唄

昔田

廿一

青梅

梅の花は 巴山の雪を 如く一重
明く雪を 雪のふり 白く死に 死に

五葉
廬雪
梅室

栗實

梅の花は 雪のふり 白く死に 死に
梅の花は 雪のふり 白く死に 死に

九未岐
孤星

桜花

梅の花は 雪のふり 白く死に 死に
梅の花は 雪のふり 白く死に 死に

暁翠
碓嶺
昂尤

梅の花は 雪のふり 白く死に 死に
梅の花は 雪のふり 白く死に 死に
梅の花は 雪のふり 白く死に 死に
梅の花は 雪のふり 白く死に 死に

冬雨
大貴
寸長
烏得

樽花

梅の花は 雪のふり 白く死に 死に
梅の花は 雪のふり 白く死に 死に

三惠女
碓嶺

柘榴花

梅の花は 雪のふり 白く死に 死に
梅の花は 雪のふり 白く死に 死に

高嶺
祭魚
碓嶺

青芒

梅の花は 雪のふり 白く死に 死に
梅の花は 雪のふり 白く死に 死に

岱月
乙辰

萍

梅の花は 雪のふり 白く死に 死に
梅の花は 雪のふり 白く死に 死に

今
白露
碓嶺

梅の花は 雪のふり 白く死に 死に
梅の花は 雪のふり 白く死に 死に

逆洲
左右

藻花

洋中 坂の海に生ずる花
その花より花の形をとりて花
よりの花をいふ

確嶺 菴井 潮浦 三恵女

藻川

藻の川 一本の川をいふ
その川をいふ
その川をいふ

流尾 乙居 風齊

河骨

河骨 川の骨をいふ
その骨をいふ
その骨をいふ

惟草 李葉 九石岐 確嶺

百合

百合 花の白く
その花をいふ
その花をいふ

風下 花吉 呼牛

紫陽花

紫陽花 花の色が紫
その花をいふ
その花をいふ

萩哉 確嶺 寸風 九起

忘草

忘草 花の色が白
その花をいふ
その花をいふ

江三 一朗 種好 父月

凌霄

何言中... 凌霄花... 凌霄花... 凌霄花...

風齋
月底
多代女

夏菊

凌霄花... 夏菊... 夏菊... 夏菊...

一具
大鷗
可母女

夏草

夏草... 夏草... 夏草... 夏草...

音好
橋涼
青嶋
柏光
雁嶺

百合

新花

酸漿艸

水鶏

新花... 酸漿艸... 水鶏... 新花... 酸漿艸... 水鶏...

由誓
梅成
梅雪
冷更
律調
挑担
五美
露丸
三都雄
雨
種好

夏川

龍の川の海に水はなりき川の海
人々の心をなごめし
五月廿一日 龍の川
六月廿一日 龍の川
六月廿二日 龍の川
六月廿三日 龍の川
六月廿四日 龍の川
六月廿五日 龍の川
六月廿六日 龍の川
六月廿七日 龍の川
六月廿八日 龍の川
六月廿九日 龍の川
六月三十日 龍の川

碓氷 庫曉 風齋 逸淵 三都雄 風齋 碓氷 一具 碓氷 風齋 碓氷

水無月

水室

夏水

不二詣

祇園會

五月廿一日 水室
五月廿二日 水室
五月廿三日 水室
五月廿四日 水室
五月廿五日 水室
五月廿六日 水室
五月廿七日 水室
五月廿八日 水室
五月廿九日 水室
五月三十日 水室
六月一日 水室
六月二日 水室
六月三日 水室
六月四日 水室
六月五日 水室
六月六日 水室
六月七日 水室
六月八日 水室
六月九日 水室
六月十日 水室
六月十一日 水室
六月十二日 水室
六月十三日 水室
六月十四日 水室
六月十五日 水室
六月十六日 水室
六月十七日 水室
六月十八日 水室
六月十九日 水室
六月二十日 水室
六月二十一日 水室
六月二十二日 水室
六月二十三日 水室
六月二十四日 水室
六月二十五日 水室
六月二十六日 水室
六月二十七日 水室
六月二十八日 水室
六月二十九日 水室
六月三十日 水室

梅室 李葉 久輪 梅室 碓氷 柳葉女 柘枝 三惠女 茶辭 免列 青瑤

月鉾

祝鶴
嵐齋
八鶴
茶靜
風齋
子春
久輪
梅花
護樂
文中
柳

夏日

暑

音昇
匠齋
風齋
雉嶺
萬像
錦杖
廬雪
風齋
梅室
黃山
水壺

土用

土用于

行

土用于
行
...

音昇
匠齋
風齋
雉嶺
萬像
錦杖
廬雪
風齋
梅室
黃山
水壺

真蕪

風薫

夏月

吟々音葉より庭中軒の汗
 井の溜を汗流せしむる真なり
 露花を——る花枝もさう花枝を
 糸瓜の子も散つてゆく花枝を
 送るす人かすしりて花枝を
 行燈もゆらゆらと風薫る
 花のさき風の中を花枝を
 花の中を花枝を花枝を
 花の中を花枝を花枝を
 花の中を花枝を花枝を

硯水 得蕪 文其 石膽 墨遊 久輪 守人 春光 童昇 白露 大江

涼

月涼

花のさき風の中を花枝を
 花の中を花枝を花枝を
 花の中を花枝を花枝を
 花の中を花枝を花枝を
 花の中を花枝を花枝を
 花の中を花枝を花枝を
 花の中を花枝を花枝を
 花の中を花枝を花枝を
 花の中を花枝を花枝を
 花の中を花枝を花枝を

雄嶺 文翼 此共 九美 菊晴 李葉 可母女 梅雪 雀更 四月 風齊

風涼

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

北性

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

是三

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

粟泉

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

乙居

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

尚日

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

風齊

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

梅釋女

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

風齊

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

一具

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

冬岐

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

丁知

朝涼

夕涼

涼

門涼

涼莖

納涼

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

好月

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

芥舍

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

平齊

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

梅雪

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

蓬宇

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

芳山

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

廬雪

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

望山

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

田風

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

確嶺

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

藝室

涼風吹くをあるはまきり 涼風の先と毛

野泉

雲峯

夕立

二月月をみよしきも川原くみ
木のけをまきしやうしはこもか
連きまのうらまはしの浦邊くみ
さの原おきまきまのうらまは
ら一西原くもまきまのうらまは
松の葉のまきまのうらまは
くままのうらまはのうらまは
さの原おきまきまのうらまは
さの原おきまきまのうらまは
さの原おきまきまのうらまは
さの原おきまきまのうらまは
さの原おきまきまのうらまは
さの原おきまきまのうらまは
さの原おきまきまのうらまは

些共
露丸
風齋
連山
三惠女
河梁
守人
白露
雪窓
素洲
碓嶺
茶静

夏雨

歩水

中ささるる雨をまきまのうらまは
夕まのうらまはのうらまは
うらまのうらまはのうらまは
うらまのうらまはのうらまは
うらまのうらまはのうらまは
うらまのうらまはのうらまは
うらまのうらまはのうらまは
うらまのうらまはのうらまは
うらまのうらまはのうらまは
うらまのうらまはのうらまは
うらまのうらまはのうらまは
うらまのうらまはのうらまは
うらまのうらまはのうらまは
うらまのうらまはのうらまは
うらまのうらまはのうらまは

大貴
萬嶺
素洲
嵐齋
碓嶺
茶静
荷竹
錦林
小夷
林曹
宗齋
春蝶

竹婦人

おりのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる
一松まゝに三松まゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる

可母女
樂齊
澤々女
白露

箆枕

懐も一りのあまひのうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる

有省
盛白
梅價

蓮

月ま身をわくくそおのうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる

桐葉
卓池
南強

李菓

おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる

李菓
三都雄

ナツ

葛花

おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる

民賀
其山
多代女
墨遊

益顔

おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる

卓池
里孝
風齋
前
井雨

夕貞

おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる
おのまゝに竹のうらさくむしりしる

桃沙
卓池
柳蛙

茄子

とろろし 肌も冷々人程の程い
百も切ら河に 玉の何 茄子もど
江洲中 三層の外も 茄子もど

雀更
梅室
茶語

豇豆

茄子細く くるくる くる くる
運と 運と 運と 運と 運と 運と
皆く 皆く 皆く 皆く 皆く 皆く

確嶺
木竹

馬鹿

以物中 運と 運と 運と 運と
石多き 河を 河を 河を 河を

孔巷
聖石

海華

方社の家 戸 庭 庭 庭 庭
上あり 下あり 庭と 庭と 庭と 庭と

樂齊
雀更

水飯

水飯の 水飯の 水飯の 水飯の
水飯中 水飯中 水飯中 水飯中

茶語
石磨
乙居

冷汁

蕎麦の 汁 汁 汁 汁
皆川を 舟を 舟を 舟を

春蝶
楠月

心太

水太の 汁 汁 汁 汁
水太の 汁 汁 汁 汁

志竹
波文

夜酒

夜酒の 汁 汁 汁 汁
夜酒の 汁 汁 汁 汁

由哲
茶粹

十繪

十繪の 汁 汁 汁 汁
十繪の 汁 汁 汁 汁

八鶴
匠齋

空外
匠齋

